

その男、メスを握れば“神”となる。



Bi

手塚治虫の傑作、初の劇場用アニメーション!

# BLACK JACK

ブラック・ジャック

原作 手塚治虫

監督 出崎 統

製作 奥山和由・松谷孝征 / 作画監督 杉野昭夫 / 医学監修 永井明 / キャスト 大塚明夫(ブラック・ジャック)・水谷優子(ピノコ)・涼風真世(ジョー・キャロル) / 主題歌 山根麻衣  
製作協力 株式会社秋田書店・株式会社コロムビアエンタテインメント / 製作 株式会社手塚プロダクション・松竹株式会社

# 《未知の病原体》にBJが挑む

## 手塚アニメの集大成《BJ》待望の映画化

手塚治虫。'89年に他界するまで数多くの作品を発表し読者を魅了。常に野心的、挑戦的な方法論で創作活動に取り組み続けた今世紀日本を代表する天才漫画家である。その創作活動は漫画だけに止まらず、アニメーションの分野にも及び、'63年には日本初の連続テレビアニメ『鉄腕アトム』を製作。以後30数年、様々なアニメーションを世に送り出してきたが、漫画家デビューから50年の今、ついに20世紀手塚アニメーションの集大成とも言うべき劇場用超大作『ブラック・ジャック』が誕生した。



「BLACK JACK(ブラック・ジャック)」は、数多くある手塚の代表作の中でも指折りの傑作だ。治療費は巨額。無免許でアウトローの天才外科医。このダークヒーロー《BJ》がその驚異的なメスで医学の限界、そして犯罪や権力に立ち向かっていく。と同時に手塚の永遠のテーマである人間の「生と死」を感動的に描いた不朽の名作である。

連載当時から20年余りたった現在でも、その人気は衰えず、世を超えた読者を獲得し、漫画の発行部数は3,500万部という未曾有の大ベストセラーとなっている。

## 驚異の《超人類》に何が起こったのか?

1996年のオリンピック。10種目以上の競技で驚異的な世界新記録が樹立され、これまでの人間の常識を覆す記録を打ち立てた選手たちは《超人類》ともはやされた。《超人類》の出現はスポーツ界のみならず、芸術、科学の分野にも及び、それぞれの分野に異常とも言うべき革新と進歩をもたらしていた。

そんな折、以前治療した少女に新たな病気が併発した事を聞きつけ、ロンドンを訪れたブラック・ジャック。しかし到着時にはすでに手の施せない状態のまま少女は息絶えた。そして少女の病理解剖に立ち合い愕然とする。その14歳の少女の臓器は、まるで90歳の老人のもののように使い古された状態だったのである。

誰が、そして何のために? 隠された陰謀に気づいた《BJ》の身に、謎の組織からの魔の手が迫る!

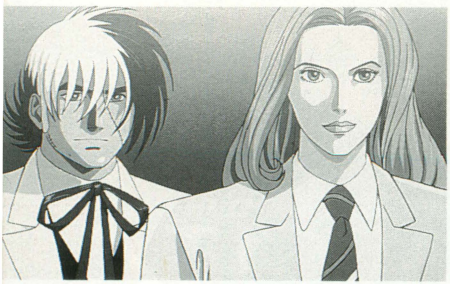


監督は、出崎統。作画監督、キャラクターデザインには杉野昭夫。この両ベテランと共に『鉄腕アトム』以来の虫プロの生え抜き、言わば手塚直系の愛弟子である。ダイナミックなカメラワークと華麗な作画は今回も冴えに冴え渡り、劇場用ならではのスケール感溢れる映像美を追求している。医学監修には「ぼくが医者をやめた理由」の著者でもある永井明が参加しており、専門用語、手術描写などにリアルなタッチを付加している。

漆黒の闇の中、BJの奇跡が始まる!

# BLACK JACK

## ブラック・ジャック



「医者っていうのはいったい何の役にたっているのか、いったい何のためにあるのか、ブラック・ジャックはそういうことで悩んでいるわけで、その悩みがあるためにわざと免許をとらないんです。

ぼくが描きたかったのは医学上の知識や手術の方法なんかじゃなくて、医者というのは、なにも人間の命をひきのばすのが仕事じゃない。その患者にあと残された命、限られた時間をどう有効に使ってもらわなければならないか、ということです。」

(1980年大阪大学医学部講演より)

■企画/清水義裕・古徳 稔・石田康男 ■脚本/出崎 統・森 絵都 ■音楽監督/鈴木清司 ■音楽/川村栄二 ■美術監督/河野次郎 ■撮影監督/高橋宏固・野口 肇 ■編集/森田清次 ■演出/吉村文宏 ■プロデューサー/宇田川純男・久保田稔・秋葉千晴 ■配給/松竹株式会社

# 11月30日(土)より大公開!

特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200/小人¥800)発売中

紀伊國屋ビルうら  
**新 宿 松 竹**  
 03(3356)4881